産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

都道府県名　千葉県

Ⅰ　産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1　成果目標

（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量又は出荷量	現状 生産量又は出荷量 単位	現状 価格(販売単価)	現状 価格(販売単価) 単位	現状 生産コスト	現状 生産コスト 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量又は出荷量	目標 生産量又は出荷量 単位	目標 価格(販売単価)	目標 価格(販売単価) 単位	目標 生産コスト	目標 生産コスト 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量又は出荷量	実績 生産量又は出荷量 単位	実績 価格(販売単価)	実績 価格(販売単価) 単位	実績 生産コスト	実績 生産コスト 単位	スマート農業推進枠 年度	スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 事業実施前年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 事業実施前年度 単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 目標年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 目標年度 単位	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
									ha										ha									ha																		
南房総市農業再生協議会	53	三芳	水稲	高性能農業機械の導入により、ほ場ごとの生産量を平準化及び生産量を増価させ、安定生産体制を整備する。	所得額の10%以上の増加	R3	所得額 28,640円/10a	23	ha	119.6	t	179	円/kg	167	円/kg	R6	所得額 35,780円/10a	27	ha	136.2	t	207	円/kg	175	円/kg	R6	所得額 23,080円/10a	29.77	ha	119.4	t	179	円/kg	150	円/kg									販売実績及び決算書から販売金額、作付面積及び経費の実績値により検証を行う。	-77.9%	目標年において、「にじのきらめき」の作付面積が計画より約2ha少なく、その分の収穫量が不足した。「にじのきらめき」を目標面積まで増やせば、540kg/10a×20=10,800kgの収穫量の増加が見込め、生産量の目標は達成できる見通し。	目標は達成していないものの、多収品種の拡大が見込まれており、達成に向けた取組が具体化されていることから、予定どおり達成できるよう、引き続き取り組みを支援する。	
山武市農業再生協議会	55	山武市成東地区及び一部九十九里町	水稲	総販売額10%以上増加	総販売額470%増加	3	24,303千円	40.0	ha	152	t	430	円/kg			6	138,572千円	67	ha	315	t	450円	円/kg			R6	64,919千円	52	ha	119	t	430	円					38,430	円	44,430	円	0.86	55,830千円	法人の決算書	27.6%	第9期決算書での評価。目標金額には届いていないものの、総販売額10%以上の増加は達成している。 令和６年産については、高温、害虫等の影響による収量の減少により、目標未達成になったと考えられる。 今後は農薬散布、作付時期などを考慮し、目標に向け実現します。	高温対策の実施等により、経営改善を図り、継続して目標の達成に取り組む。	
君津市農業再生協議会	56	小糸地区	水稲種子 水稲（種子除く）	ライスセンターの導入	10a当たり販売額6%増加	R4	97,772	11.7 26.2	ha ha	53,004 117,660	kg kg	374.0 157.97	円/kg 円/kg	28,830,654	円	R6	103,639	12.0 30.0	ha ha	54,000 168,883	kg kg	374 157	円/kg 円/kg	31,974,847	円	R6 R6	124,165（価格補正後）	10.9 31.7	ha ha	20,792 228,045	kg kg	453 330	円/kg	37,044,359円 決算月が7月であるため、R5.8月～R6.7月の決算書から算出。 水稲コスト＝当期製品製造原価41,160,399×0.9＝37,044,359 0.9は当期製品製造原価中の水稲の割合				374.0 157.97	円/kg		円/kg			JA及び取引先との販売伝票等	449.9%	本市の主要な水稲及び水稲種子生産地である小糸地区を維持していくにあたって、中心的な担い手の経営面積の拡大及び経営改善は、産地としても重要な課題である。 本事業で導入されたライスセンターは、R6年度より稼働となった。補助対象者の水稲作付面積が計画時に比して4.7ha拡大したが、滞りなく乾燥調製作業が実施された。 水稲種子の収穫時期を誤ったが、主食用米の反収向上により、成果目標を達成した。ライスセンター導入による1日あたりの処理能力向上の効用を十分に示したものと評価できる。	高温耐性品種の導入や、市場動向を考慮し複数の出荷先を持つ等、栽培面だけでなく販売面においてもリスク分析を行い、様々な課題に柔軟に取り組んだことにより、取組目標を達成することができた。今後は新たなライスセンターにより歩留率の向上や高品質化、さらには経営規模の拡大に取り組まれたい。	小糸地区は中山間地域。

（５）農産物輸出の取組（直近年の輸出実績がある場合の輸出向け出荷量又は出荷額の10%以上の増加、新規の取組の場合又は直近年の輸出実績がない場合の総出荷額に占める輸出向け出荷額の割合５%以上又は輸出向け年間出荷量10トン以上）

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 総出荷量又は出荷額	現状 総出荷量又は出荷額 単位	現状 輸出向出荷量又は出荷額	現状 輸出向出荷量又は出荷額 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 総出荷量又は出荷額	目標 総出荷量又は出荷額 単位	目標 輸出向出荷量又は出荷額	目標 輸出向出荷量又は出荷額 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 総出荷量又は出荷額	実績 総出荷量又は出荷額 単位	実績 輸出向出荷量又は出荷額	実績 輸出向出荷量又は出荷額 単位	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
									ha								ha								ha									
東金市地域農業再生協議会	52	東金市上谷・幸田地区	水稲	米の輸出	21ｔ	R3	0ｔ	119	ha	675	t	0	t	R6	21t	136	ha	824	t	21	t	R6	21t	145	ha			0	t	契約書及び出荷伝票による確認	100.0%	令和6年度は目標値通りの作付けを行ったところ、問題なく出荷することができた。	事業で導入した施設を計画通りに活用し、目標達成ができた。	